

切り絵作家 水口千令さんによる 絵本電車「大雄山線ものがたり」2両目を車内装飾し運行します！

伊豆箱根鉄道株式会社（本社：静岡県三島市、代表取締役社長：伍堂 文康）では大雄山線において切り絵作家水口千令さんが手掛けた絵本電車「大雄山線ものがたり」の1両目を本年4月より装飾して運行しています。そしてこの度、1両目に続き2両目の装飾を行い、下記のとおり運行いたします。

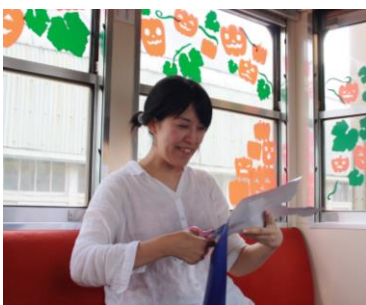
絵本電車は、主人公「たろう」と大雄山線とのエピソードを大雄山線の成り立ちや歴史などを、車両ごとに時代をわけて、絵本のように物語と挿絵（切り絵）を車内のドア部分などに貼付けて紹介しています。1両目は大雄山線が開通した大正時代、2両目は戦争が終わり赤電を導入した昭和時代を大人になった「たろう」の恋愛エピソードや沿線の豆知識などを盛り込み紹介しています。

来年2月頃に平成・令和時代を描く3両目の装飾を予定しており、絵本電車1編成（3両）が完成を迎えます。

記

1. 運行日： 2019年8月24日（土）から
2. 車両： 5504編成（DAIYUZAN LINE イエロー・シャイニング・トレイン）
3. 運行初日の小田原駅停車時間：
7時～20時までの間、毎時35分から48分まで小田原駅に停車します。車内撮影を希望される**報道関係**の方は小田原駅窓口でお申し出ください。
4. お問い合わせ： 伊豆箱根鉄道株式会社鉄道部 運輸課
TEL.055-977-1207
9：30～16：30（土・休日を除く）

絵本電車2両目の車内のようす



「水口^{ちほる}千令」さんは、駿豆線沿線の伊豆市修善寺に在住し、独学で紙切りをはじめ、現在、静岡県芸術文化講師として、教育現場で子どもたちの創造力を育てる“はさみ”の授業を行っています。当社では、水口さんに協力いただき、これまでに駿豆線や伊豆箱根バスの車内を装飾したハロウィン電車やノスタルジック修善寺切り絵バスなどを運行してきました。

以上